

正負の数 No.9

組 番 氏名 教師用

1 復習問題（個人→一斉）

(1) $(-67) + (+33) - (+33) - (-67)$ という式について、次の問いに答えましょう。

① 減法を加法にし、加法だけの式になおしましょう。

② 上の①の式の項をすべていいましょう。

③ 上の①の式を計算し、和を求めましょう。

① $(-67) + (+33) + (-33) + (+67)$	② $-67, +33, -33, +67$
③ 0	

※ 項 … 加法の記号 +（たす）でつながれた数のこと

(2) 次の式を、ア：加法だけの式になおしてから、イ：項だけを並べた式に表しましょう。

① $(+3) - (+8)$ ② $(-9) - (-2) + (-6)$

①	ア： $(+3) + (-8)$	イ： $3 - 8$
②	ア： $(-9) + (+2) + (-6)$	イ： $-9 + 2 - 6$

前回の授業では、加法と減法の式を（ ）を使わずに表す方法について考えました。

今回の授業では、“項だけを並べた式の計算方法”について考えます。

今日のめあて

項だけを並べた式の計算方法について考えてみよう。

2 項だけを並べた式を計算してみよう。（班→一斉）

○パターン1：加法の式

問1：項だけを並べた式 $3 + 8$ について、次の問いに答えましょう。

(1) この式の項をすべていいましょう。（この式は2つの項が並んでできています）

(2) 復習問題を参考に（ ） + （ ）の加法だけの式になおし、和を求めましょう。

(1)	$+3, +8$	(2)	式： $(+3) + (+8)$	和： 11
-----	----------	-----	------------------	---------

○パターン2：減法の式

問2：項だけを並べた式 $3 - 8$ について、次の問いに答えましょう。

(1) この式の項をすべていいましょう。（この式は2つの項が並んでできています）

(2) 復習問題を参考に（ ） + （ ）の加法だけの式になおし、和を求めましょう。

(1)	$+3, -8$	(2)	式： $(+3) + (-8)$	和： -5
-----	----------	-----	------------------	---------

※ 項だけを並べた式について、項と項の間に“加法の記号 +（たす）”が隠れていると考えると、 $3 - 8$ のような減法の式も、**加法だけの式** としてみることができます。つまり項だけを並べた式は、その式のすべての項の和を求めることで計算できます。

正負の数 No.9

組 番 氏名 教師用

○パターン3：加法と減法の混じった式

問3：項だけを並べた式 $3 - 8 + 5$ について、次の問いに答えましょう。

- (1) この式の 項 をすべていいましょう。(この式は 3つの項 が並んでできています)
 (2) 復習問題を参考に () + () + () の加法だけの式になおし、和を求めましょう。

(1)	$+3$, -8 , $+5$	
(2)	式: $(+3) + (-8) + (+5)$	和: 0

※ 項だけを並べた式について、項と項の間に “ 加法の記号 + (たす) ” が隠れていると考えると、 $3 - 8 + 5$ のような加法と減法の混じった式も、**加法だけの式** としてみることができます。

つまり項だけを並べた式 は、その式の すべての項の和 を求めることで計算できます。

問4：項だけを並べた式 $-3 + 8 - 5$ の計算方法について答えましょう。

<ul style="list-style-type: none"> この式は -3 , $+8$, -5 の 3つの項 が並んでできている。 この式の答えは、その3つの項の (和) ・ 差) を求めることで計算できる。 よってこの式の答えは 0 である。
--

③ 部分的に () が使われている式を計算してみよう。(班)

問5：次の式を、ア：加法だけの式 になおしてから、イ：項だけを並べた式 に表し、ウ：すべての項の和 を求めて計算しましょう。

- (1) $-2 - (-7)$ (2) $1 - (+6) - 4$

(1)	ア: $(-2) + (+7)$	
	イ: $-2 + 7$	ウ: 5
(2)	ア: $(+1) + (-6) + (-4)$	
	イ: $1 - 6 - 4$	ウ: -9

※ これからは 「 項だけを並べた式 」 が式の基本的な表し方になります。

問題のような式をみたとき、すぐに イの式 がイメージできるようになりましょう。

振り返り (わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど)

今日の理解度: A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)

次回の授業では、項だけを並べた式をくふうして計算することについて考えます。

正負の数 No.9

組 番 氏名

1 復習問題

(1) $(-67) + (+33) - (+33) - (-67)$ という式について、次の問いに答えましょう。

① 減法を加法にし、加法だけの式になおしましょう。

② 上の①の式の項をすべていいましょう。

③ 上の①の式を計算し、和を求めましょう。

①	②
③	

※ 項 … 加法の記号 + (たす) でつながれた数のこと

(2) 次の式を、ア：加法だけの式になおしてから、イ：項だけを並べた式に表しましょう。

① $(+3) - (+8)$ ② $(-9) - (-2) + (-6)$

①	ア：	イ：
②	ア：	イ：

前回の授業では、加法と減法の式を () を使わずに表す方法について考えました。

今回の授業では、“項だけを並べた式の計算方法”について考えます。

今日のめあて

2 項だけを並べた式を計算してみよう。

○パターン1：加法の式

問1：項だけを並べた式 $3 + 8$ について、次の問いに答えましょう。

(1) この式の項をすべていいましょう。(この式は2つの項が並んでできています)

(2) 復習問題を参考に () + () の加法だけの式になおし、和を求めましょう。

(1)	,	(2)	式：() + ()	和：
-----	---	-----	-------------	----

○パターン2：減法の式

問2：項だけを並べた式 $3 - 8$ について、次の問いに答えましょう。

(1) この式の項をすべていいましょう。(この式は2つの項が並んでできています)

(2) 復習問題を参考に () + () の加法だけの式になおし、和を求めましょう。

(1)	,	(2)	式：() + ()	和：
-----	---	-----	-------------	----

※ 項だけを並べた式について、項と項の間に“加法の記号 + (たす)”が隠れていると考えると、 $3 - 8$ のような減法の式も、**加法だけの式** としてみることができます。つまり項だけを並べた式は、その式のすべての項の和を求めることで計算できます。

正負の数 No.9

組 番 氏名

○パターン3：加法と減法の混じった式

問3：項だけを並べた式 $3 - 8 + 5$ について、次の問いに答えましょう。

- (1) この式の 項 をすべていいましょう。(この式は 3つの項 が並んでできています)
(2) 復習問題を参考に () + () + () の加法だけの式になおし、和を求めましょう。

(1)	, ,	
(2)	式： () + () + ()	和：

※ 項だけを並べた式について、項と項の間に “ 加法の記号 + (たす) ” が隠れていると考えると、 $3 - 8 + 5$ のような加法と減法の混じった式も、**加法だけの式** としてみることができます。

つまり項だけを並べた式 は、その式の すべての項の和 を求めることで計算できます。

問4：項だけを並べた式 $-3 + 8 - 5$ の計算方法について答えましょう。

<ul style="list-style-type: none">この式は _____ , _____ , _____ の 3つの項 が並んでできている。この式の答えは、その3つの項の (和 ・ 差) を求めることで計算できる。よってこの式の答えは _____ である。
--

③ 部分的に () が使われている式を計算してみよう。

問5：次の式を、ア：加法だけの式 になおしてから、イ：項だけを並べた式 に表し、ウ：すべての項の和 を求めて計算しましょう。

- (1) $-2 - (-7)$ (2) $1 - (+6) - 4$

(1)	ア： () + ()	
	イ：	ウ：
(2)	ア： () + () + ()	
	イ：	ウ：

※ これからは 「 項だけを並べた式 」 が式の基本的な表し方になります。

問題のような式をみたとき、すぐに イの式 がイメージできるようになりましょう。

振り返り (わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど)

今日の理解度： A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)

次回の授業では、項だけを並べた式をくふうして計算することについて考えます。